

関東学生テニス連盟

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(2022 年 4 月 7 日改訂)

1,始めに

2,ガイドライン制定について

3,新型コロナウイルス感染の予防策

4,個人戦での対策

5,学連役員の対策

6,新型コロナウイルスの感染者が出た時の対応

1,始めに

本ガイドラインは、新型コロナウイルスの対策及び予防について、関東学生テニス連盟に所属している大学に遵守してほしいものが記載されています。

このガイドラインに沿って対策をしても感染を 100%に防ぐことは出来るとは限りません。しかしながら本連盟の大会には多くの学生が参加するので、一人一人が自覚を持たなければ、周りの人々に感染を広げてしまう可能性があります。

本ガイドラインの遵守をお願いします。

2,ガイドライン制定について

感染を最小限に抑えながら、個人戦及びリーグ戦を行えるようにするために作成しました。

日本テニス協会のガイドラインを基に作成し、JTA 医事委員会の監修を受けております。

3,新型コロナウイルス感染の予防策

①新型コロナウイルス感染症の感染経路について

飛沫感染、接触感染の 2 つの経路で感染されます。

飛沫感染：くしゃみや咳、つばなどと一緒にウイルスが放出され、そのウイルスを口や鼻などから吸入することにより感染が生じます。近距離での多くの人との会話をするなどといった環境では感染の拡大につながる可能性があります。

接触感染：感染者の咳やくしゃみからでたウイルスに触ってしまい、触れた手のまま口や鼻を触ることで粘膜から感染します。物についたウイルスは数日間付着している場合もあります。

②一般的な予防方法

(1)3 密(密閉、密集、密接)を避ける行動をする

(2)手洗いと咳エチケット

(3)外出中には口・鼻・目に不用意に触れない

以上の 3 つを日常生活の中から心がけてください。

③チェックシートの記入と提出

各大学の選手、監督コーチ、事前に申請のあったプレスは、試合前2週間、試合負けてから1週間は、毎日、グーグルフォームの健康チェックを記入し提出(送信)してください。

④毎日の健康チェック

新型コロナウイルス感染の兆候がないか、把握します。

(1)体調測定:起床後に体温記録。他にも倦怠感、咳、咽頭痛、食欲低下の有無、睡眠時間を記録。

(2)各大学のデータは、各大学の責任者が管理するようにしてください。

⑤毎日の行動記録:各自、食事や外出した時の場所・同行者などを記録

万が一感染者が出た場合、また濃厚接触者が出た時に、どの範囲で自主隔離をするのかを正確に判断するために毎日の行動記録が必要になります。

練習、買い物、会食、感染リスクがある行動を誰と実施したか、といった観点で、毎日メモを確実に記録してください。書きにくいことにつきましては、場所と時間だけなどでも構いませんが、極力詳細に書くようにしてください。

4,個人戦での対策

①会場内の注意点

体調が優れない(発熱、咽頭痛、倦怠感など)方は会場に来るのを見合わせてください。

下記に当てはまる人も入場制限とします。

- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触した場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

応援は無しとします。

社会的距離を保って下さい(2m、最低でも 1m)。

マスクを着用して下さい。

エントリー時に手指消毒、検温をします。

試合が終わり次第、速やかに帰宅して下さい(残って応援は無し)。

②会場内の衛生管理

選手は試合前に自分の使うベンチを消毒すること。

トイレ、選手が待機する場所、ドアなどの消毒も学連が定期的に行います。

入場制限を行います。(会場に入る時間も制限する、会場割は詰めて入れるのではなく、人が多い時間を無くすために時間に余裕を持つ、集合時間を 30 分前頃にする)。

選手の場所の確保、待機している場所が近くならないように気を付けてください。

ゴミの管理は自分で行ってください。

③試合中に気を付けること

コートに入れる人数を制限します。

自分のものは極力他の人に触らせない、置きっぱなしにしないでください。

更衣室は基本使えません。

トイレなども利用者が多くならないように配慮する、待つ時も距離を取ってください。

ハイタッチ、抱擁、握手などの接触は避ける様をお願いします。

タオルは手で持つ方と、顔を拭く面を使い分けると感染のリスクを抑えられます。

プレイに必要なものには極力触らないようにお願いします。

ポイント間是对戦相手との距離もある程度確保すること。

5,学連役員の対策

健康チェック、消毒、マスクは徹底して行います。

会場割は、人が密集しないように試合間の時間などは余裕を持つように作ります。

体温計を用意します。

個人戦の場合、ベンチやトイレなど選手が触りそうな場所の消毒をします(試合開始前、選手は自分の使うベンチを消毒する。)全試合終了後は学連が消毒します。

本部にいる人数を削減します。

本部には消毒液を準備し、選手との距離を保ちながら接します。

6,新型コロナウイルスの感染者が出た時の対応

(1)発熱等の風邪のような症状が出た場合(以下の症状)

各都道府県の帰国者・接触相談センター(保健所)に電話相談をしてください。その後の対応については保健所の指示に従うようにお願いします。

- ・息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

(※)糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

(2)濃厚接触者になった場合

濃厚接触者となった場合は、自宅待機(外出制限、健康観察)などをし、症状が出た場合は保健所に相談して下さい。また、新型コロナウイルス感染者が出た時の為に、毎日の行動記録は必ず取るようにしてください。

(3)学連に報告

エントリー期間から試合期間後2週間までに新型コロナウイルス感染と診断された、濃厚接触者と認定された場合は下記のメールアドレスにその旨を必ず送ってください。

報告を怠ったことが発覚した場合、大学にペナルティを課す場合があります。

メールアドレス: corona.taiau@gmail.com

その後日本テニス協会医事委員会に相談し、開催可否の判断を仰ぎます。

JTA 公式テニストーナメント開催ガイドライン(20220401 改訂)(4)その他の留意事項、に基づく対応を行います。